

# ぱーとなー

2005年4月  
第41号

## 耳原総合病院の理念

- 耳原総合病院はこんな医療をめざしています  
安全 安心 信頼の医療
- 私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます  
無差別平等の医療
- 私たちは人権を尊重した医療をすすめます  
患者負担の少ない医療
- 私たちは室料差額はいただきません  
地域とともに歩む専門職の育成
- 人権感覚をもつ専門職を養成します

## 栄養サポートチームNST(Nutrition Support Team)のご紹介

- 基本的医療の礎と位置づけられるのが栄養管理栄養管理なしに、患者さまのQOLの向上はありえないのではないのでしょうか？ -

### 設立の目的

摂食嚥下障害や栄養状態の不良な入院患者様の栄養療法を主治医まかせにせず、多職種の実践的作業チームであるNST(Nutrition Support Team)が栄養療法を援助する活動が各地で実績を上げています。今日の医療標準に照らして、入院患者様の栄養状態を改善することにより合併症を防止し、早期退院と社会復帰を促し、医療の向上に寄与していきます。

### NST活動の概要

2004年4月設立

毎週定期的に活動 予め抽出された問題患者様の診察とカルテ調査により、栄養状態を評価します。そして適切な栄養療法を主治医に提案させていただきます。栄養療法に関わる啓蒙活動・職員教育を企画・実施いたします。

### NSTメンバーと役割

役割	担当職種	内 容
顧問 Chairman	院長または副院長 外科医師	運営に関する助言・指導 NSTの総括と方向性の指示 院内の主要組織・委員会との意見交換 院外医師との意見交換や啓蒙 新しい知識の習得や紹介
Director	内科医師 事務	総責任者の補佐 NSTメンバーの教育と指導 運営に関する事務処理・会議の運営
医師	主治医	栄養状態と栄養補給法に関する最終的な決定
看護師	病棟	病棟NST看護師が以下の仕事をできるように指導・体制づくり ・ 静脈・経腸栄養カテーテルの管理 ・ 栄養療法の効果判定と合併症のチェック ・ 患者家族とチームの接点としてのケア
管理栄養士	栄養科	栄養アセスメント、経口栄養療法の適応決定、 経腸栄養の選定、栄養指導
薬剤師	薬局	栄養輸液、混合輸液の管理保管 投与する栄養輸液メニューの提案 服薬指導
臨床検査技師	検査科	生化学検査データの情報提供と管理データに伴うアドバイス
調理師	食養科	調理方法の提案・聞き取り調査

## 印事務局 病棟リンク看護師別記

### NST介入の概要

- 低栄養不良の抽出やコンサルテーション  
S G A (主観的包括的栄養評価) O D A (客観的栄養評価) などから病棟、医師により低栄養不良・長期絶食・食思低下などの抽出や栄養管理上の問題にコンサルテーション行う。
- N S T回診依頼  
病棟医師・看護師よりN S T事務局の事務へ ( F a x ) N S Tラウンド
- N S T介入と評価
- 活動内容をニュースで発行

### 低栄養状態の患者

低栄養の抽出から以下のような結果を得た。

期 間	2004/6/10 ~ 6/23
対 象	A l b 2.8mg/dl 以下 リンパ球数 1000 以下 T . P 6 g / d l 以下
低栄養者	1日平均在院者数の363名/374床 平均低栄養者137名/363名 = 38%

以上のような低栄養状態が続くと、以下のように影響が示唆され、当院でもN S T必である事が伺えた。

- 免疫機能の低下 易感染症
- 創傷治癒の遅延 手術創・褥創
- 合併症 (臓器障害、感染症等) の発生頻度の増加
- 入院期間の延長
- 医療費の増加
- 死亡率の上昇

そして、アルブミン値調査でも、2台の低栄養不良がかなりあった。栄養管理は重要な課題といえる。低栄養でも、他の治療に隠れて低栄養であることが放置されていることがある。経腸栄養剤の選択基準が明確でなく、主治医任せになっているが必ずしも適当でない時もある。

### N S Tの目的 (目標)

- 適切な栄養管理法の選択
- 適正かつ質の高い栄養管理の提供
- 栄養障害の早期発見と栄養療法の早期開始
- 栄養療法による合併症の予防
- 疾患罹病率・死亡率の減少
- 病院スタッフのレベルアップ
- 医療安全の確立とリスクの回避
- 栄養素材・資材の適正使用による経費削減
- 在院日数の短縮と入院費の軽減
- 在宅治療症例の再入院や重症化の抑制
- 他食種との育ち合い・徹底した共有化システムの構築
- 耳原病院を必要とする全ての人々と栄養の問題を考える



## N S Tの役割

- ・ 栄養管理が必要か否かの判定（栄養アセスメントの施行）
- ・ 適切な栄養管理が施行されているか否かのチェック
- ・ 最も相応しい栄養管理法の提言（適切な栄養ルートを選択）
- ・ 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療
- ・ 栄養管理上の問題点に答える。（コンサルテーション）
- ・ 新しい知識・技術の紹介・紹介などがある。
- ・ 特に研修医と共に育つ（～年経たら栄養管理の先導者に。他食種と連携して仕事を）

## N S T活動を通じて

### N S T介入事例

院内全体学習会、ミニ学習会、研修見学

基準化・マニュアルなど

- ・ 介入システムと電子化
- ・ 栄養アセスメント（評価）及び記録
- ・ 食品経腸栄養剤・特殊補助食品の見直しと採用
- ・ 栄養療法（医薬品・食品採用）一覧表とパウチ化
- ・ LES食（肝硬変就寝前補食）、急性期食（食思低下からの移行食）2種、スマイル食（妊娠悪阻食）
- ・ 院内栄養療法を一覧表（医薬・食品）に整備

NSTニュースの発行

ご意見箱

## 今後に向けて

病院では、一般的に低栄養状態の人が40%あると報告されています。当院においてもわかりでした。更に、入院によって栄養不良になっていくことも避けたいところです。適切な栄養管理法の先駆けに何が必要なのか？紆余曲折で活動し始めたNSTですが、原疾患の回復の遅れ・合併症の増加・入院の長期化・ADL/QOLの低下を防ぎ、予後やQOL向上に役割は大きいと考えます。院内外・在宅・地域との連携した共有課題として取り組み、展開も必要です。

今後ともみなさま方のご協力ご指導を、いただきますようよろしくお願い申し上げます。

////////// 耳原総合病院地域医療室 //////////

////////// 電 話 072-241-0324 //////////

////////// F a x 072-241-0208 //////////

////////// F a x 072-241-0670 //////////

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。